

みんなとともに笑顔いっぱい — 創立百周年 その先の未来へ みんなとともにスマイルミッション —



みんなとともに



今週は「縄跳び大会」が行われ、子どもたちの活躍する姿を見ることができました。縄跳び運動は全身運動であるとともに、「脳」と「手足の動き」を結びつけ「巧緻性（こうちせい）」を高める運動です。今、子どもたちの体の中では「神経回路」が形成されています。そのためには「頭」と「体」に「よい刺激」を与えることが大切です。学年が一つ上がると「技」の面もグッと成長していました。



◇「入賞作品」が載った「カレンダー」が届きました

「下水道ポスターコンクール」「シルキー図画コンクール」



2年 加藤心絆さんの作品



1年 森口恋杏さんの作品

入賞作品の載ったカレンダーが学校に届きました。夏休みに挑戦した作品ですが、がんばった甲斐がありましたね。

子どもたちには、自分の「得意な分野」で力を伸ばしてほしいと考えています。（苦手克服も大切だけれど、プラス面を伸ばすとマイナス面も見えなくなってくるのかもしれないなあ。）

第64回福島県書きぞめ展入賞

「硬筆の部」で「2年 鈴木 凜花」さんが「書きぞめ奨励賞」となりました。おめでとうございます。なお、「優秀作品展」で展示されます。

2/2（日）～8（土） 9:00～16:00
福島県教育会館 特設展示場（福島市上町）

【校長のつぶやき】 その27 「次年度へ向けた構想 その2」

〈変更点〉 その3 「学級編制のあり方を『少人数指導を基本』に変える」

本県では、「少人数学級」か「少人数指導」を選べる「児童数」があります。現在は「少人数学級を基本」としていますが、今年度進めてきた「学年は一つ」の考えをさらに進め、次年度は「少人数指導を基本」とする考えです。

「少人数学級」…2学級にしてそれぞれに教員を配置する。「少人数指導」…1学級にして教員を2人配置する。

【令和2年度（推定される児童数を基にした学級数）】

【1年】1学級（少人数指導）

【2年】1学級（少人数指導）

【3年】1学級

【4年】1学級

【5年】1学級（少人数指導）

【6年】2学級

【わかば学級】1学級

※ ただし、県・市の基準があるため、児童数の増減で変更になる場合があります。

次年度の6年生は、「基準」から2学級のままになります。従来通りに進級時の学級編制替えは行わず、現在の学級を継続します。2学級ではありますが「学年は1つ」を実現していきます。

【なぜ「少人数指導」を選ぶのか】

例えば、「3」の力を持つ教師が2人いたとしましょう。「少人数学級」では1組も2組も教師の及ぶ力は「3」のままになります。

反面、「少人数指導」では、「教師のよさ」をうまく生かすことができれば、「3+3=6」「3×3=9」とその効果は「倍以上」になる可能性があります。

もちろん「1学級の人数が増える」ことによるデメリットはあります。そのことを分かった上で、「少人数指導」のメリットに着目して、「効果的な指導のあり方」を工夫していきたいと考えています。



「子どもの数」からすると、もう既に、本校は「学年単学級」規模の学校です。そこを「出発点」として、学校経営を進めていこうと考えています。